



習志野市学校給食センター建替事業に対する融資取組みについて

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、この度、習志野市のPFI事業「習志野市学校給食センター建替事業」に対し、最大16.6億円の融資を取り組みますので、お知らせします。なお、当行の給食センターPFI事業に対する融資取組みは本件で10例目となります。

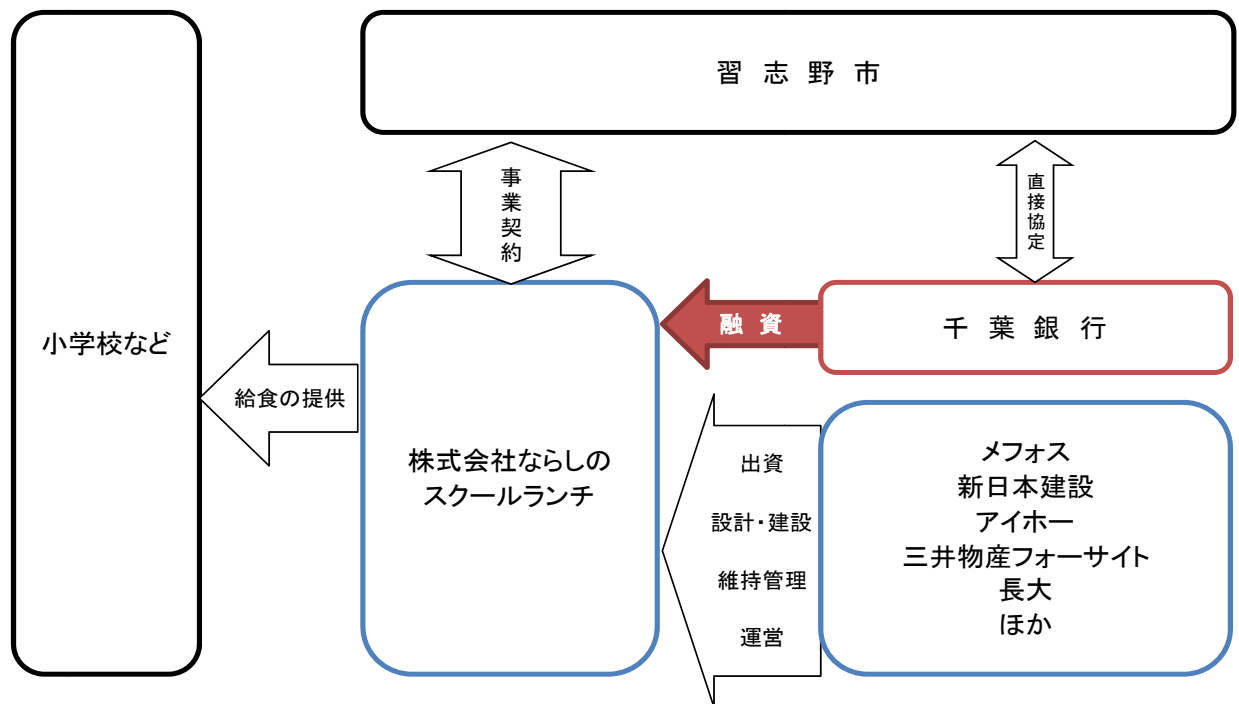
本事業は、築後約40年が経過した「習志野市学校給食センター」を建て替える計画で、民間の食品衛生に関するノウハウや資金を活用するPFI方式が採用されました。

当行は、計画策定段階から本事業に参画し、官民連携のネットワーク形成やファイナンススキームに関するレクチャーなど、事業の実現に向けた側面支援を継続して行ってまいりました。

長期に亘る事業を着実に遂行するため、習志野市が選定したメフォスグループより、当行が金融面のパートナーに指名され、この度、当行は事業主体となる株式会社ならしのスクールランチと最大16.6億円の融資契約を締結し、2017年11月30日（木）、初回融資金1.3億円を実行しています。

今後も事業の進捗に応じて段階的に資金対応してまいります。

【スキーム図】



以上